

ながさき自立生活センターこころ学習案内

身体障害の理解、社会モデルの浸透のための講話

「ながさき自立生活センターこころ」は、どんなに重度の障害があっても、人として地域で自分らしく生きることを尊重され、それがあたりまえに実現できる社会になるよう、障害者が中心となって障害者のエンパワーメントに基づく自立支援、権利擁護、啓発活動などを行っている団体です。長崎市を拠点に 2017 年より活動しております。

身体障害当事者による身体障害の理解、社会モデルの浸透のための講話を通して

「伝えたいこと」

1. みんなとは違う人生・生活があること
2. 障害者と対等に過ごせること
(障害者は可哀想ではないこと)
3. 社会モデルについて
(障害者という表記に込める思い)
4. 道德の授業ではないこと
(優しさや思いやりの落とし穴)



ながさき自立生活センターこころ
代 表 山口 和俊 氏

「背景」

- ・社会的にインクルーシブ教育を目指していますが、様々な課題が出てくるため簡単には進めていけないのが現状です。
例) 医療的ケア児への対応、現存する学校へのバリアフリー化など。
- ・今、普通校にできること→障害理解を広めること。

「目的」

- ・障害を身近に感じること。
- ※身体障害当事者の講話等を通して、通学路に障害がある人もない人も通うにはということを考えてもらう。
- ・医学モデルではなく、社会モデルの浸透。
※自分たちの街で社会モデルを考えるきっかけづくり。

「効果」

- ・障害が辛いというイメージがなくなる。(生徒の感想から)
- ・一緒に行くにはどうしたらいいかを考えるきっかけができる。
- ・対等に接してくれる子が多くなる。

「時間と人数」

ご要望の時間に合わせます。授業一コマから対応します。

人数はクラス単位、学年単位、低学年、高学年、全校などご要望に応じて対応いたします。

«スタッフの人数»

学校の人数に関係なく3名前後で対応します。

«必要な機材»

スクリーン、パソコン、プロジェクター、マイクなどのご準備をお願いいたします。

«お申込みの際の留意点»

- ・実施予定日の**2か月前**までにはご連絡ください。
- ・電話などで事前打ち合わせをさせていただきます。
- ・交通費・謝金については特に規定はありませんが、交通費をいただけると助かります。
- ・学習支援依頼については、ながさき自立生活センターここにメールでご連絡、又は「**ふくし学習支援依頼書**」をメールまたは下記まで郵送にてお送りください。

【問い合わせ先】

〒852-8061 長崎市滑石6丁目2-4 D棟 B101

ながさき自立生活センターこころ（担当：山口）

TEL：070-4710-7108

Mail：ncilk.yamaguchi@gmail.com